

2026年度夏季手当「3.0箇月分」

5年ぶりに連結・単体経常利益は黒字へ転換！！

**2026年度夏季手当「3.0箇月分の支払い」を
貨物会社に申し入れを行う！！**

国鉄労働組合は5月11日、「2026年度夏季手当の支払い」に関する5項目を貨物会社に申し入れ、5月18日、第1回の団体交渉を行い、申し入れに対する要求根拠について趣旨説明を行ってきました。

趣旨説明では、世界情勢による影響をはじめ、日本国内における戦争する国づくりに向けた危険な策動の中で、「指定公共機関」となっている貨物会社への役割が積極的に求められてくること、日本経済の現状として長期にわたる物価高騰に対し、実質賃金は4年連続で減少し、日々の生活は厳しさを増している実態、貨物会社の現状では、2026年3月期決算は、鉄道事業は悪化しているもの、関連事業が増収していることから連結・単体ともに増収増益となり、連結経常利益24億円、単体経常利益0億円と5年ぶりに赤字から脱却を達成している実態、また、国労が実施した「2025年度賃金・生活実態アンケート調査」から、毎月赤字があるとの回答が62%で、平均赤字額は31,075円にのぼり、赤字の補てんでは、約半数が預貯金の切り崩し、期末手当からとなっている実態を踏まえ、「2026年度夏季手当支払い」に関して、5項目について誠意をもって団体交渉を開催し要求に応えることを申し入れられました。アンケート結果は、貨物会社に働く社員の生活実態が一層厳しさを増しており毎月の賃金だけでは生活が成り立たないことが示されています。物価上昇率はもはや毎年3%前後で上昇しており、この間の僅かな賃上げでは社員の生活は改善できません。

5年ぶりの黒字決算は社員の頑張りの結果であり、満額回答を行うことが社員の生活改善を実現し、モチベーション維持に繋がっていくものとなることは間違いありません。

近年、激甚化する自然災害や、日々発生する輸送障害をはじめとした大幅な遅延への対応、不正行為に伴う信頼の回復に最大限の努力で貨物会社社員、関連会社社員は応えてきています。貨物会社グループ内で働く社員の厳しい生活実態を踏まえ、関連会社を含めた全ての社員が納得のいく夏季手当の回答を勝ち取るため奮闘しなければなりません。要求実現に向け国労とともに声をあげましょう。



「2026年度夏季手当」の支払いに関する申し入れ

1. 支払いは、2026年6月1日現在の基準内賃金の3.0箇月分とすること。
2. 支払日は、2026年6月30日までとすること。
3. 期間率、成績率の支払い条件について大幅に改善すること。
4. 支払いにあたっては公平・公正に行い、社員間・組合間差別は絶対に行わないこと。
5. 契約社員及び臨時社員についても、社員と同様の取り扱いとすること。



国鉄労働組合・全国貨物協議会